

# 令和4年度 自己評価・施設関係者評価報告書

社会福祉法人 恭心福祉会  
みやざき認定こども園

## 1 本園の目標

「寛容で思いやりのある子」「聡明で愛情豊かな子」「創造力にあふれる健やかな子」という3つの保育目標のもと保育をおこなっております。

### 1、 寛容で思いやりのある子

こども園では同年齢のお友達だけでなく、異年齢のお友達と触れ合う機会もたくさんあります。そんな中でお兄さんやお姉さんのお友達に教えてもらうことの大切さや、小さいお友達への接し方など多様な価値観を学んでいくことができます。

### 2、 聡明で愛情豊かな子

お子様は成長するにつれて様々な自己主張がみられるようになります。時には「いやいや」といってお友達同士でケンカをしてしまう時もありますが、そんな時は「どうしていやなのか？」と常に問いかけていきます。そうすることで互いの人格を尊重する心を育て、人間としての聡明さを学ぶ子度ができると考えております。

### 3、 創造力にあふれる健やかな子

学びは学問からではなく、自然と触れ合いや体験をすることで深まっていきます。当園では探検隊やチャレンジクッキングといった体験型のシステムでお子様の創造力を培い、お子様の「まだ見えない能力」を形にするお手伝いをさせていただいております。

## 2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した具体的な目標計画

「教育課程・指導」「情報提供・共通理解」「園児職員健康管理」について取り組み、特に支援の必要な園児への対応・環境・保護者対応について細かく接する。

## 3 実施状況

保育参観・職員自己評価・利用者アンケート・保護者面談

4 評価項目の達成及び取り組み状況

評価項目	取組内容	評 価
教育保育過程	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 教育目標・重点目標の設定</li> <li>• 年間の指導計画や週案の作成</li> <li>• 職員間の協力的な指導状況</li> <li>• 各行事の実施状況</li> </ul>	<p>保育目標を全職員で共有しパソコンを増やしたことにより職員の書類作成等もさらに充実し、指導計画や週案の作成のさらに力を入れることができた。また、クラウド化することで全職員が瞬時に閲覧、編集することも利点となり、主幹教諭を中心に職員間でアドバイスをもらい良い保育を行うことを目指し、クラス単位や勉強会等での振り返りも実施し次につなげることができた。</p> <p>行事に関しては、コロナ禍ということもあり、保護者様人数を制限したうえで、入園進級式等では同じ内容で同じ日に4回開催し、感染対策をきちんと守ったうえで開催することが出来た。</p>
情報提供共通理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全職員が共通理解図る</li> <li>• 家庭との連携</li> <li>• 子育て支援の実施</li> </ul>	<p>従来通り、朝夕の保護者対応職員を毎日配置し、保護者からの伝達事項を書き漏らすことなくノートに記載し、午前9時30分頃に、出勤した全職員に伝えて共通理解をする。</p> <p>家庭との連携では、保護者面談を実施し、家庭環境把握に努めることができた。</p> <p>子育て支援では新型コロナウイルスの影響で規模縮小を余儀なくされたが、子育ての悩み等では担任以外の専門分野(保健師・看護師・管理栄養士)の職員からのアドバイス等もあり保護者並びに利用者から大変喜ばれた。</p>

評価項目	取組内容	評 価
園児職員健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 園児健康観察実施</li> <li>• 職員健康観察実施</li> <li>• 新型コロナウイルス対応</li> </ul>	<p>全園児登園時に保護者に体調等を聞き、その後すぐに検温やボディチェック等を行う。検温に関しては、朝夕以外に日中の保育教育時間内に 4 回から 5 回検測し、園児一人一人の体調の変化に早めに気づき、重症化等を防ぐ。また、急な嘔吐等は医療従事者の資格を取得している職員等が瞬時に対応し、園内での感染を防ぐことが出来た。</p> <p>職員に関しても、出勤時の検温並びに退勤時の検温の実施、熱はなくても喉や鼻水等の風症状がある場合は病院受診後の出勤とする。</p> <p>新型コロナウイルスを園内で蔓延させない為に、施設内の喚起の徹底・壁や階段等の消毒・園児使用の玩具等の消毒・机や椅子の消毒等を全職員が毎日実施する。</p>
支援の必要な園児	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 園児への対応</li> <li>• 家庭環境把握</li> <li>• 保護者対応</li> </ul>	<p>基礎疾患があり配慮の必要な園児と、特別な支援が必要な園児との対応も職員間が共通理解のもとに、より細かな配慮を行う。また、ケースによっては、当法人のみやざきチャイルドセンターの職員とも連携し、支援方法も共通することで、園児の混乱もなく園内でも保育教育に務めることができた。</p>

## 5 今後に取り組むべき課題

### 1、 子育て支援の充実や行事

新型コロナウイルスの影響で、規模を縮小した開催の行事もありましたが、園行事等はすべて実施することができました。今後も、感染対策等を万全にしつつ子育て支援等のさらなる内容の充実を図りたいと思います。

### 2、 安全管理

あらゆる場面を想定しての避難・防災訓練を毎月実施していますが、更に専門家の方に来園して頂き、訓練等の改善点や不備等があれば細かく教えて頂く時間と、職員にも園内での研修を開催して頂き、学び多き時間となりました。

今後もより安全に避難できる様、スキルアップしていきたいと思えます。

## 6 施設関係者評価の意見

新型コロナウイルス感染拡大の中、消毒作業などこれまでになかった業務が増大し職員の負担は計り知れないものとなりましたが、毎日の休憩時間の確保、休憩しやすい風土づくりや、職員一人一人の年休の取得を更に増やさせ、基本的なことに立ち返り職員のストレス軽減や疲労回復にも昨年度よりも努めました。

今後も園児を預かる上で、職員が万全な体制で園児を受け入れ、カリキュラムに沿った教育・保育を実施できるようにし、園児の成長の更なる飛躍の為に躍進してほしいと願っております。